

平成 30 年度 第 4 回理事会議事録

- I. 会議名 : (公社) 日本地すべり学会 平成 30 年度第 4 回理事会
 II. 開催日時 : 平成 30 年 11 月 22 日 (火) 12 時 30 分～14 時 55 分
 III. 開催場所 : 一橋大学 一橋講堂 特別会議室101
 IV. 出席者 : 理事出席 14 名, 監事出席 2 名, その他 2 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	櫻井 正明	○	理事	平松 晋也	○
理事	新井場公德	○	理事	笹原 克夫	×	理事	松浦 純生	×
理事	石丸 聡	○	理事	柴崎 宣之	○	理事	八木 浩司	○
理事	榎田 充哉	×	理事	高山 陶子	×	理事	若井 明彦	×
理事	小山内信智	○	理事	中里 裕臣	○	理事	渡部 直喜	○
理事	加藤 猛士	○	理事	中村 真也	○	—	—	—
理事	後藤 聡	○	理事	西井 洋史	○	(理事 14 名, 定足数 10 名)		

監事	相楽 渉	○	監事	白木 克繁	○	(監事 2 名)		
総務部	林 一成	—	—	—	—	事務局	鈴木 英則	

- ・ 林一成氏は、審議-7 の「学会ホームページの改修」に Web 会議で参加
- ・ 新井場理事は、審議-1 の「規則の改定」の途中から参加

○定足数 10 名 (理事の過半数) を満たし, 理事会は成立した。

○議事録署名人は, 八木会長, 相楽監事, 白木監事。

<議長あいさつ>

八木会長が開会のあいさつを行った。

議題 I. 審議事項

- ・ 平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会 第 3 回理事会議事録の確認

平成 30 年度 (公社) 日本地すべり学会第 3 回理事会の議事録に関し確認を求めた。賛成 13 票, 反対 0 票で承認された。

1. 規則の改定

資料に基づき規則改定の主旨と改定条文について説明が行われた。理事からの意見は、以下の通りである。

- ・支部で設置される委員会は、何を想定しているのか。

→地すべり学会研究発表会の実行委員会や災害時に支部で設置する委員会等を想定している。

- ・地すべり学会研究発表会の実行委員会には、学会員でない方も参加しているケースがあるが問題はないか。

→支部で設置する委員会の委員は、学会員でなければならないという記載はないので、問題ない。

- ・審議の結果、賛成 14 票、反対 0 票で承認された。

2. 2019・2020 年度支部別代議員数と選挙管理委員の選任

(1) 代議員数

資料に基づいて代議員数説明が行われた。審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

(2) 選挙管理委員の選任

選挙管理委員会として以下 5 名が推薦された。審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

今泉文寿（静岡大学）

浦元啓（日本工営株式会社）

佐藤浩（日本大学）

柴崎達也（国土防災技術株式会社）

鈴木拓郎（（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所）

田中龍一（株式会社オサシ・テクノス）

3. 表彰委員の改選

資料に基づいて説明が行われた。審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

4. 解説委員運営細則の制定と委員長の選任

(1) 解説委員運営細則の制定

資料に基づいて細則制定の主旨および条文が説明された。理事からの意見は、以下の通りである。

- ・委員の任期は 1 年で短くないか。

→地すべり学会を代表してマスコミ等への対応を行う重要な責務があることから、委員は毎年見直しを行うとした。ただし、再任は妨げないとしている。

- ・審議の結果，賛成 14 反対 0 で承認された。

(2) 委員長の選任

委員長として榎田理事が推薦された。審議の結果，賛成 14 反対 0 で承認された。

5. 文書細則の改定

- ・資料に基づいて説明が行われた。審議の結果，賛成 14 反対 0 で承認された。

6. 支部運営細則の改定

- ・資料に基づいて説明が行われた。審議の結果，附則の日付を修正し，賛成 14 反対 0 で承認された。

7. 学会ホームページの改修

資料に基づいてホームページの改修の主旨と改修の方法，概略費用について説明が行われた。理事からの意見は，以下の通りである。

- ・関連情報を得るためのリンク先は決まっているのか。

→現時点では，特に決まっていはいない。なるべく，多くの機関へリンクできるようにしたい。

- ・地すべり学会研究発表会のところでは，過年度の情報も残しておくのか。

→紙からデータの世界になってきていると考えている。このため過年度の情報もできる限り残せるようにしたいと考えている。

- ・過去の情報は，アーカイブという項目で残してはどうか。

- ・過去の研究発表会やシンポジウムの講演要旨は，J-Stage に掲載してはどうか。

→J-Stage に載せられることは事務局で確認しているが，コスト面での課題がある。

- ・学会誌は，J-Stage で公開し，研究発表会等は各々のホームページで公開している学会が多いと思う。

- ・事業計画部では，研究発表会は，紙や CD で印刷することは発表会への投稿時点に著者から承諾が得られていると考えているが，それをデータで公開してよいかの承諾が得られているのかは，不明確である。今，著作権について調べているところである。事業計画部と編集出版部で詰めていきたいと考えている。

- ・人事公募情報の覧は，外部の情報を発信することと，学会の公募する情報があるので，これらを明確に区別できるような形にして欲しい。見出しは「公募情報」とすべきである。

→意見を了承。

- ・改修後のランニングコストはどうなっているのか。

→ホームページに載せる等のことは事務局および総務部が行っているのでコストはかからない。

- ・上記を踏まえ、執行部で改修作業を行うことに対して、賛成 14 反対 0 で承認された。

8. 会計ソフトのバージョンアップ

資料に基づいて会計ソフトのバージョンアップについて説明が行われた。理事からの意見は、以下の通りである。

- ・現在、Windows7 が搭載されているパソコンに OS として Windows10 を搭載するのは避けた方がよい。Windows7 のパソコンはスタンドアロンで使うようにして、Windows10 搭載のパソコンを新たに購入した方がよい。

→意見を了承。

- ・審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

9. 書籍の過剰在庫の適正化と不足分の増刷

資料に基づいて書籍の在庫状況と処分について説明が行われた。理事からの意見は、以下の通りである。

- ・「地すべり 地形地質的認識と用語」は、基礎的な事項が記載されているので後 10 年位と限定せず保管した方がよいではないか。

→国会図書館や主だった県図書館へ寄贈し、書籍は見られるようにはしている。保管場所とコストがかかっているため、処分したい。ただし、大学等でゼミ等に使用していただけるのであれば、理事会の承認を経た上で寄付したいと考えている。

- ・審議の結果、賛成 14 反対 0 で承認された。

10. 入退会者状況

- ・資料に基づいて入退会者状況について説明が行われた。審議の結果、入会者については賛成 14 反対 0 で承認された。

議題Ⅱ. 報告事項

1. 新潟大会完了報告

資料に基づいて新潟大会の開催結果について報告がなされた。

2. 新潟大会若手優秀発表

資料に基づいて若手優秀発表の審査結果、および、表彰者について報告がなされた。

研究発表会若手優秀発表表彰を実行委員長名で出すのが良いか、学会長名で出すのが良いのかを検討した結果、表彰される側にとっては表彰する者の肩書きはあまり重要ではない。それよりも、当該発表会でのすばらしさを表彰する趣旨や、学生には奨学金返済の免除の審査事項の一つになっている等の事情があり、審査から表彰までの時間を短くして欲しいなどの理由により、表彰する者はこれまで通り、実行委員長名とする。

3. 平成 30 年度北海道胆振東部地震災害調査報告

資料に基づいて調査結果について報告がなされた。

4. 内閣府の立入り検査

内閣府の立入り検査結果と今後の対応について報告がなされた。

5. 会長、副会長及び専務理事の職務執行状況報告

定款 27 条 7 項に基づき、会長、副会長、専務理事より職務執行状況について報告がなされた。

6. 平成 30 年度概略中間決算

資料に基づいて概略中間決算について報告がなされた。

7. その他

・防災学術連携体に関する行事予定および来年度研究発表会（期日：2019 年 8/20-23 日，会場：KKR ホテル熊本）に関する報告がなされた。

・内閣府の立入り検査で謝金に関する規則をつくるようアドバイスを受け、各支部での謝金の額などの状況を知りたいので、各支部で謝金の状況について事務局へ報告して欲しい。

以上

議 長 八木 浩司 ㊟

議事録署名人 相楽 渉 ㊟

議事録署名人 白木 克繁 ㊟